

# 遊牧民がつくった 史上最大の「世界帝国」

## 遊牧民の英雄チンギスハーンが ユーラシア大陸を席卷

12世紀、モンゴル高原では遊牧民の諸部族が争いを繰り返していた。モンゴル族のテムジンは13世紀初頭、諸部族を統一

してチンギスハーン（ハーンは王の意の称号を受けると、千戸制という軍事・行政制度を取り入れ、強大な軍を編成した。また、契丹人の耶律楚材を重用して、政治・経済の制度を整えていった。チンギスに率いられたモンゴル軍は、華北の金へ侵

入し、西アジアのホラズム朝、中央アジアの西夏を滅ぼした。1227年のチンギスハーンの死後、第2代ハーンとなったオゴタイは、金を滅ぼし、カラコルムを首都として、バトウに西への遠征を命じた。バトウはロシアを征服し、



中央アジアの高原に興ったモンゴルは、強大な軍事力を背景に、東西世界を結ぶ広大な地域を支配する大帝国を築き上げる。

## 大ハーンをめぐる内乱をへて、5カ国の分立へ

ヨーロッパへ進撃。強大なモンゴル軍の前にヨーロッパ軍はひとたまりもなく敗れるが、オゴタイの死の報を受けたモンゴル軍は引き返し、ヨーロッパは征服をまぬかれる。第4代モンケハーンは、弟のフビライおよびフラグに遠征を命じ、フラグはアッバース朝を滅ぼし、フビライは大理、チベットなどを征服した。こうして、ユーラシア大陸に史上空前の大帝国が誕生し、東西交流が活発化した。

**1279年 崖山の戦い**  
元が南宋を滅ぼした戦い。崖山は最後まで元に抵抗した南宋勢力の拠点であったが、ついに陥落した。



**大都と上都**  
大都（開平）は第5代フビライが計画的に築いた元の首都。上都（開元）は副都であり、皇帝や官僚らが夏季に滞在した。

**1274年、1281年 文永の役、弘安の役**  
フビライは日本に修好を求める国書を送ったが、鎌倉幕府がこれを断つたため、2度にわたり日本遠征を敢行。しかし、いずれも日本軍の激しい抵抗と暴風雨によって失敗に終わった。

**高麗**  
13世紀前半からモンゴルに脅かされ、抵抗を試みるが、1259年に服属。済州島を拠点に最後まで抵抗を続けていた三別抄（さんべつしょう）も73年に鎮圧された。

**カラコルム**  
第2代オゴタイから第4代モンケまで、モンゴル帝国の首都が置かれた。

**東南アジア遠征**  
フビライは1280年代からビルマ、チャンパー（ベトナム）、ジャワへ徐々に遠征軍を出す。いずれも目的を達成できなかった。



第5代ハーンとなったフビライは、首都を大都（現在の北京）に移し、1271年に国号を元とすると、中国の南宋（P53参照）を滅ぼし、朝鮮の高麗を属国にした。さらに、海にも進出して日本や東南アジアの支配を目ざしたが、失敗に終わった。このころ、モンゴル帝国全体の長である大ハーン位をフビライが継いだことに対する反乱が起き、約40年間にわたって戦いが続いた。この結果、モンゴル帝国はフビライの元のほか、オゴタイハーン国、チャガタイハーン国、キプチャクハーン国、イルハーン国の5国が並び立つこととなった。ユーラシアにおけるモン



1241年

**ワルシュタットの戦い**  
 バトゥ率いるモンゴル軍が、現在のポーランド領レグニッツァでドイツ・ポーランド連合軍を破る。

1240年

**キエフ占領**  
 チンギス=ハンの孫バトゥがキエフ公国の首都を占領し、以後ロシアをモンゴルの支配下に置く。ロシアではこのモンゴルによる支配を「タタールのくびき」とよぶ。

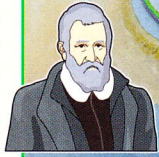
モンゴル帝国の最大版図

1258年

**アッバース朝滅亡**  
 フラグがバグダッドを占領。カリフを殺害し、アッバース朝を滅ぼす。1260年にイル=ハン国を建国。

**マルコ=ポーロ**

1254~1324年。ヴェネツィアの商人。父や叔父とともに元へ行き、17年間滞在ののち帰国。帰国後ジェノヴァとの戦争で捕虜となり、その獄中で自分の中国体験を口述筆記させた「世界の記述」(「東方見聞録」)を著す。この本は大航海時代の1つのきっかけとなった。

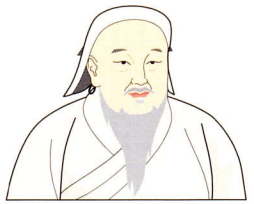


マルコ=ポーロ

**マルコ=ポーロの行路**

マルコ=ポーロは、1271年にヴェネツィアを出発し、オアシス都市をめぐる陸路をへて元へ達した。フビライに仕え、17年間元で暮らしたのち、インド洋経由の海路で帰国した。

NASA's Earth Observatory



**チンギス=ハン**  
 1162年~1227年。漢字では成吉思汗と書く。生年については1155年、1167年などの説がある。

**チンギス=ハンはどうして眠っているのか?**  
 遊牧民であるモンゴル民族には、地上に墓標などを立てずに埋葬する風習がある。そのため、モンゴル帝国の偉大な始祖・チンギス=ハンも、死後どこに埋葬されたのかわからなくなっており、現在もおお、多くの歴史学者や考古学者などがその場所の特定に取り組んでいる。候補地はモンゴル国内や中国の内モンゴル自治区などの数カ所が挙げられているが、本格的な発掘調査はまだ行われておらず、モンゴル人の間では民族の英雄の墓を掘り返すことへの反発の声も上がっている。  
 空前絶後の大帝國を築いた英雄の眠る地が明らかになる日は来るのだろうか?

モンゴル帝国の支配は約1000年間続いたが、中心をなす元では宮廷の内紛や腐敗、失政による経済破綻から被支配者である漢民族の不満が高まった。これに飢饉や災害が加わり、元は崩壊への道をたどる。